

サッシ等の遮音性能に関し

試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲を定める基準

一般社団法人 住宅性能評価・表示協会

(平成 14 年 11 月 14 日決定施行、平成 15 年 12 月 1 日改正施行、平成 23 年 9 月 20 日改正施行、平成 26 年 9 月 29 日改正施行、平成 27 年 4 月 17 日改正施行、平成 30 年 7 月 9 日改正施行)

1 総則

1-1 定義

- ①「サッシ等」とは、JIS A 4706 に規定するサッシ及び JIS A 4702 に規定するドアをいう。
- ②「非木造住宅サッシ等」とは、主としてRC造住宅建築物及び、ALC造を外壁に用いた住宅建築物に取付けられるサッシ等であり、枠を構造躯体に溶接等で固定し、かつ、当該枠と構造躯体の間にモルタル等を充填する取付方法のもので、JIS A 4702 及び JIS A 4706 で定める耐風圧性等級が S-4 以上であるものをいう。
- ③「木造住宅サッシ等」とは、主として木造住宅建築物及びプレハブ住宅建築物に取付けられるサッシ等であり、枠を構造躯体に溶接等で固定し、かつ、当該枠と構造躯体の間にモルタル等を充填する取付方法以外のものをいう。
- ④「試験体」とは、実際に試験を行ったサッシ等をいう。
- ⑤「評価品」とは、住宅性能評価を受ける住宅に実際に装備するサッシ等をいう。
- ⑥「戸」とは、サッシ等を構成する部分のうち枠以外の部分をいう。ただし、可動しない部分（フィックス部）は含まない。
- ⑦「框ドア」とは、戸の表面積の過半をガラスが占めているドアをいう。
- ⑧「単板ガラス」とは、次に掲げるガラスをいう。また、合わせガラスの場合における「単板ガラスの厚さ」とは、合わせガラスに用いられる板ガラスの厚さの合計をいう。
 - ・ JIS R 3202 に規定するフロート板ガラス及び磨き板ガラス
 - ・ JIS R 3203 に規定する型板ガラス
 - ・ JIS R 3204 に規定する網入板ガラス及び線入板ガラス
 - ・ JIS R 3205 に規定する合わせガラス
 - ・ JIS R 3208 に規定する熱線吸収板ガラス
- ⑨「複層ガラス」とは、JIS R 3209 に規定する複層ガラスをいい、中空層にアルゴン、クリプトン等の断熱性能向上を目的としたガスを充填した複層ガラスを含む。
- ⑩「締まり機構」とは、クレセント、グレモン錠、ラッチ、カムラッチその他の”戸と枠又は戸と戸の接触部分を引き寄せて気密な状態を維持する機構”をいう。

1-2 サッシ枠と構造躯体の納まり

評価対象はサッシ枠の内側のみである。したがって、試験体と評価品においてサッシ枠の外側である建築物への納まりが異なっても、等級評価には影響しない。

1-3 組合せ形式の扱い

評価品が方立や無目を介して連窓や段窓となっている場合は、それぞれの部分に対応する試験体をもとにそれぞれの部分ごとに評価し、最も劣る部分の性能をもって評価品の性能とする。ただし、この場合において試験体が評価品と同じ構造の方立や無目を介した連窓や段窓である場合は、全体を一体として評価することができる。

評価品がシーリング材等によりガラス突き合わせとなっている場合は、試験体も評価品と同じ構造のガラス突き合わせとし、全体を一体として評価する。

1-4 建て方の扱い

本基準において住宅の建て方（一戸建ての住宅か、共同住宅等か）は問わない。

2 適用する基準

下表のイ欄の「評価する性能」に応じ、ロ欄の「基準」に適合する評価品については、ハ欄に掲げる「評価方法基準の箇所」の運用において「試験体と同等の性能を有する」と認めるものとする。

(イ) 評価する性能	遮音性能
(ロ) 基準	3 材質 4 試験機関 5 品質管理 6 遮音性能に関する基準
(ハ) 「評価品が試験体と同等以上の性能を有する」と認められる評価方法基準の箇所	評価方法基準 8-4 (3)イ②又はロ②でいう「これらと同等のもの」

3 材質

次の材質の区分について、評価品の戸と試験体の戸が同じ区分に属すること。また、評価品の枠と試験体の枠についても同じ区分に属すること。

- | | |
|------------------|----------------------|
| ① アルミ製 | ⑤ 樹脂製 |
| ② アルミ熱遮断（熱絶縁）構造製 | ⑥ 木製 |
| ③ アルミ樹脂複合構造製 | ⑦ 金属製フラッシュ構造 |
| ④ アルミ・木複合構造製 | ⑧ その他の構造製（①～⑦以外の構造製） |

4 試験機関

試験は、工業標準化法に基づく試験所登録制度（JNLA）による登録試験機関その他これに類する機関において実施したものであること。ただし、登録試験機関の登録の範囲は次のいずれかに該当するものであること。

- ① JIS A 4706
- ② JIS A 4702

5 品質管理

評価品は、次のいずれかに該当する事業者が生産したものであること。

- ① JIS A 4706 又は JIS A 4702 の JIS 製品認証を受けた事業者
- ② ISO9001 審査登録を受けた事業者
- ③ 国内又は国外の第三者機関によって審査が行われ、上記①又は②と同等以上の品質管理体制が整備されていると認められている事業者

6 遮音性能に関する基準

6-1 試験方法

試験方法は、サッシについては JIS A 4706、ドアについては JIS A 4702 によること。なお、雨戸やシャッター等の付属物を閉めた状態での試験は認められない。

6-2 枠及び戸（又はフィックス部）の構造

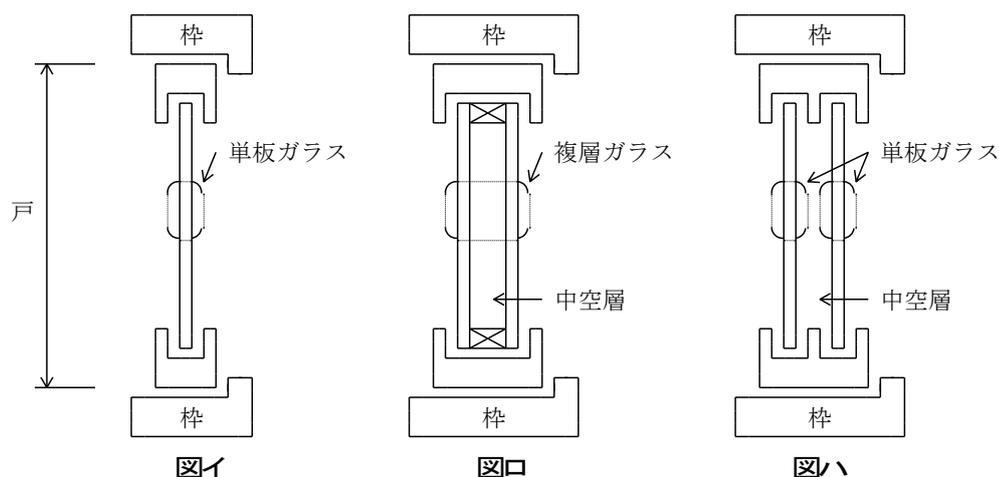
(1) 評価品の枠及び戸（又はフィックス部）の構造は試験体と同じであること。ただし、次の場

合に限り、評価品と試験体の当該部位の構造が異なっても同等の性能を有するものとする。

- ① 試験体に中棧がなく、評価品に中棧がある場合（その他の部分は同じ構造であるものとする。②～④において同じ）
- ② 試験体に換気小窓があり、評価品に換気小窓がない場合
- ③ 試験体に雨戸支持枠、シャッター支持枠、面格子等がなく、評価品にそれらが付加されている場合
- ④ 試験体と評価品の枠のうち躯体への納まりに関わる形状のみが異なる場合
- ⑤ その他評価品の遮音性能が試験体のそれ以上であることが確認できる場合

(2) 評価品のガラスは試験体と同じであること。ただし、以下の場合に限り、評価品と試験体のガラスが異なっても同等の性能を有するものとする。なお、以下の①～③は、評価品及び試験体の性能が JIS A 4706 及び JIS A 4702 に規定される T-2 等級以下のサッシ等のみに適用され、④及び⑤は、評価品及び試験体の性能が T-3 等級以上のサッシ等にも適用される。

- ① 下図イの場合、評価品の単板ガラスの厚さが試験体のそれ以上であること。
- ② 下図ロの場合、次の全てに該当すること。
 - a 評価品の中空層の厚さが試験体のそれ以上であること。
 - b 評価品の複層ガラスを構成する単板ガラスの厚さの合計が試験体のそれ以上であること。
 - c 評価品の複層ガラスを構成する単板ガラスの厚さの差が試験体のそれ以上であること。
- ③ 下図ハの場合、次の全てに該当すること。
 - a 評価品の中空層の厚さが試験体のそれ以上であること。
 - b 評価品の単板ガラスの厚さの合計が試験体のそれ以上であること。
 - c 評価品の単板ガラスの厚さの差が試験体のそれ以上であること。
- ④ 評価品に特殊単板ガラス（防音合わせガラス又は明らかにこれと同等以上の遮音性能を有する単板ガラスをいう。以下同じ）を使用している場合、次のいずれかであること。
 - a 試験体においても評価品と同じ種類の特殊単板ガラスを使用し、かつ、評価品の特殊単板ガラスの厚さが試験体のそれ以上であること。
 - b 試験体において通常の単板ガラスを使用し、かつ、評価品の特殊単板ガラスの厚さが試験体のそれ以上であること。
- ⑤ 評価品に特殊複層ガラス（防音複層ガラス、片方又は両方に防音合わせガラスを用いた複層ガラス、ネオン、SF6 等の遮音性能向上を目的としたガスを充填した複層ガラス、真空ガラス又はこれらと同等以上の遮音性能を有する複層ガラスをいう。以下同じ）を使用している場合、次のいずれかであること。
 - a 試験体においても評価品と同じ種類の特殊複層ガラスを使用し、かつ、評価品の特殊複層ガラスの中空層の厚さ及び構成するガラスの仕様が②に該当していること。
 - b 試験体において通常の複層ガラスを使用し、かつ、評価品の特殊複層ガラスの中空層の厚さ及び構成するガラスの仕様が②に該当していること。



- (3) ガラスを使用する場合、枠又は戸へのガラス納めが、試験体と評価品で同じであること。ただし、単板ガラスについては、試験体のガラス納めが不定形シーリング材で、評価品のガラス納めが定型ガスケットである場合は、試験体と評価品のガラス納めが異なっても同等の性能を有するものとする。
- (4) 試験体にガラスを使用し、評価品に腰パネル等を使用している場合は、腰パネルの単位面積当たりの重量が試験体のガラスのそれよりも重く、かつ、評価品の腰パネル等の納めが試験体のガラスの納めと同じであること。

6-3 戸と枠の取合い部の構造

評価品の戸と枠の取合い部の構造は、試験体と同じであること。ただし、評価品の気密性能が試験体と比べて同等以上であることが明らかな場合はこの限りでない。

6-4 締まり機構

評価品の締まり機構は、試験体と同じであること。また、その作用点の数は試験体のそれ以上であること。

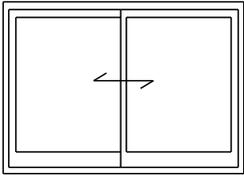
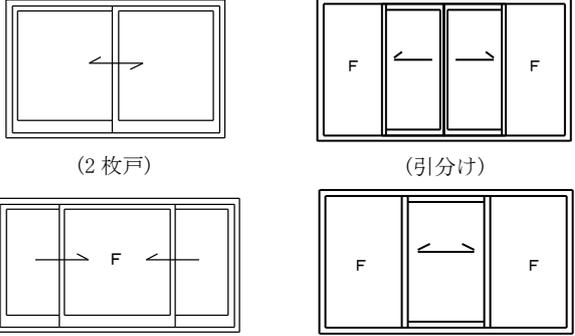
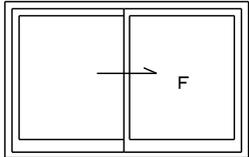
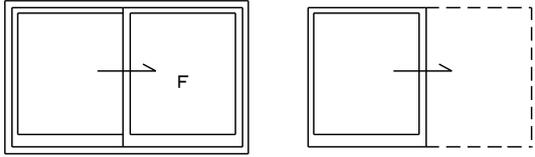
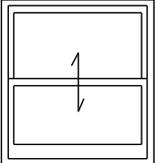
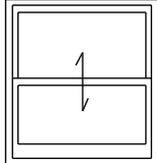
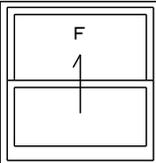
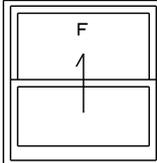
6-5 開閉形式及び寸法

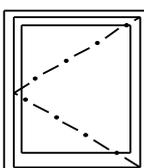
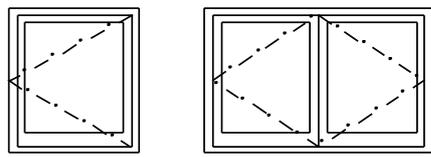
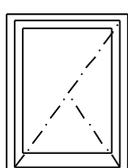
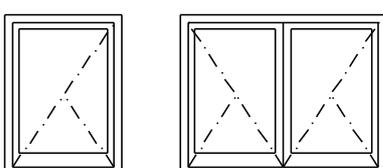
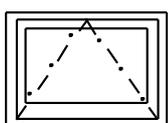
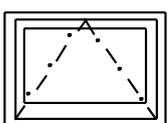
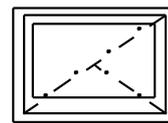
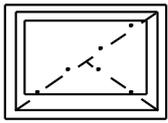
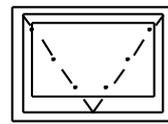
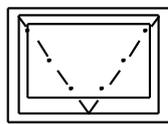
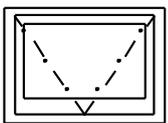
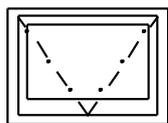
評価品の開閉形式及び寸法は、「非木造住宅サッシ等」においては別表1、「木造住宅サッシ等」においては別表2のイ欄の「試験体」の種類に応じてロ欄に掲げる「適用範囲」のいずれかに該当すること。ロ欄に掲げる「適用範囲」の区分ごとの「開閉形式及び寸法」は、それぞれ「凡例」欄に示す。

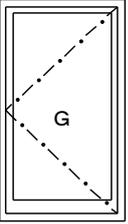
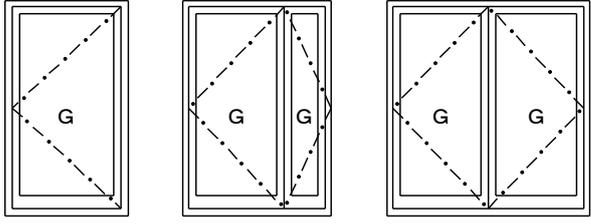
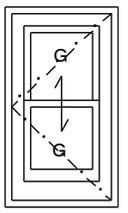
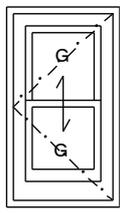
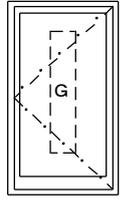
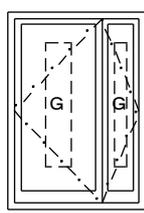
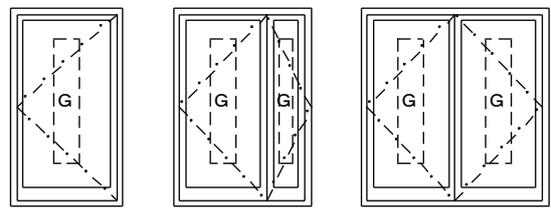
なお、「凡例」欄に記載している寸法を超える試験体で試験を行った場合にあっては、試験体の寸法を評価品の寸法の上限とすることができる。

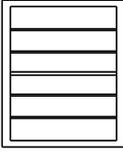
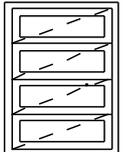
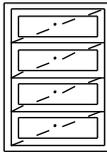
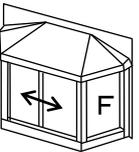
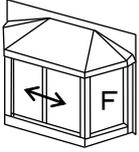
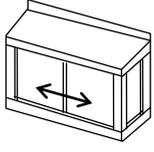
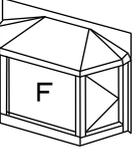
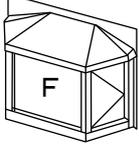
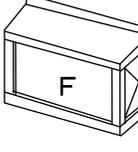
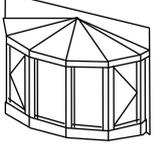
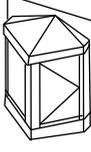
別表1 遮音性能に関する「評価品の開閉形式及び寸法の範囲(非木造住宅サッシ等)」

注 ・寸法はミリメートル。表中の幅及び高さは、枠の内のり寸法による。
 ・図中のFは「フィックス」、Gは「ガラス」であることを示す。

イ欄 試験体	ロ欄 適用範囲	凡例 (評価品の開閉形式及び寸法)
<p>①引違いの窓 (戸は2枚)</p>  <p>幅 1700 以上 高さ 1700 以上</p>	A1、A2	<p>A 1 : 引き形式の窓 (引違い・両引き等)</p>  <p>(2枚戸) (引分け) (両引き) (自由片引き)</p> <p>※ 戸一枚の幅は1200、高さは2400以内に限る</p>
<p>②片引きの窓 (戸は1枚)</p>  <p>幅 1700 以上 高さ 1700 以上</p>	A2	<p>A 2 : 引き形式の窓 (片引き)</p>  <p>(片引き) (一本引き)</p> <p>※ 戸一枚の幅は1200、高さは2400以内に限る</p>
<p>③両上げ下げの窓</p>  <p>幅 600 以上 高さ 1200 以上</p>	C1、C2	<p>C 1 : 上げ下げの窓 (両上げ下げ)</p>  <p>※戸1枚の幅は1200、高さは1200以内に限る</p>
<p>④片上げ下げの窓</p>  <p>幅 600 以上 高さ 1200 以上</p>	C2	<p>C 2 : 上げ下げの窓 (片上げ下げ)</p>  <p>※戸1枚の幅及びフィックス部の幅は1200、高さは1200以内に限る</p>
<p>⑤フィックス窓</p>  <p>幅 600 以上 高さ 1200 以上</p>	D	<p>D : フィックス窓</p>  <p>※ 窓の幅は1200、高さは2400以内に限る</p>

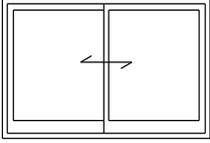
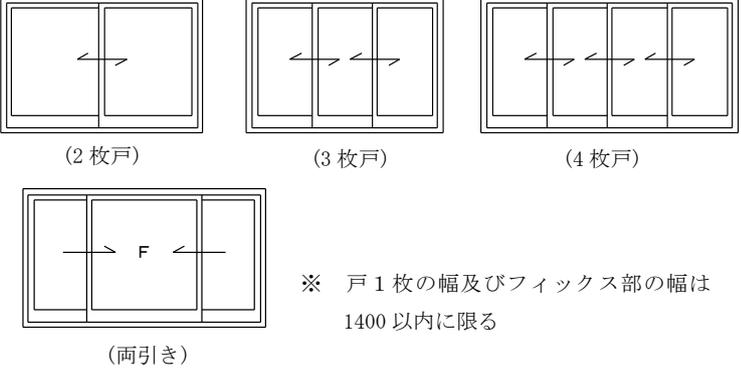
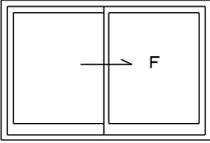
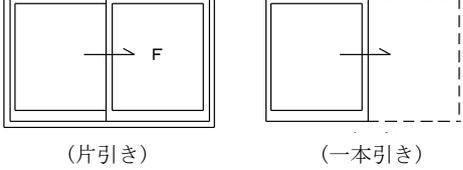
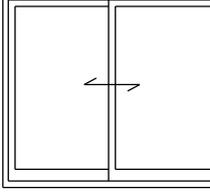
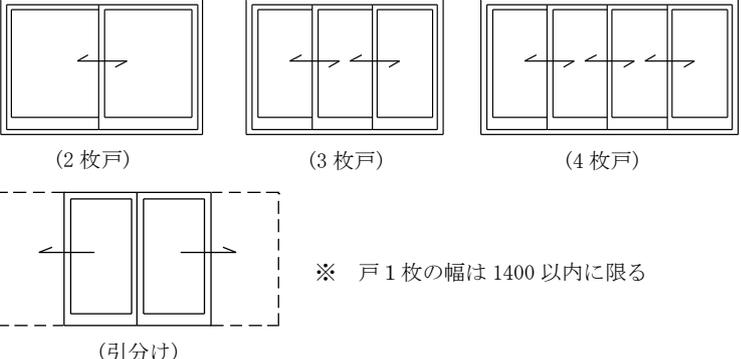
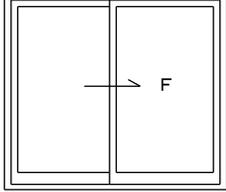
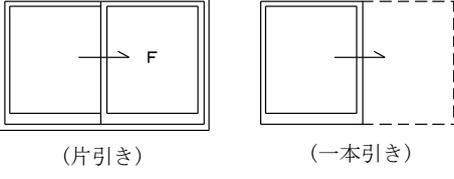
イ欄 試験体	ロ欄 適用範囲	凡例（評価品の開閉形式及び寸法）	
⑥片開き窓（戸は1枚）  幅 600 以上 高さ 1200 以上	E	E：開き式窓（片開き・両開き）  ※ 戸1枚の幅は1200、高さは2400以内に限る	
⑦縦すべり出し窓  幅 600 以上 高さ 1200 以上 （縦すべり出し窓）	F	F：縦すべり出し式窓  ※ 戸1枚の幅は1200、高さは2400以内に限る	
⑧突き出し窓  幅 600 以上 高さ 600 以上 （突き出し窓）	G	G：突き出し窓  ※ 戸1枚の幅は1200、高さは1200以内に限る	
⑨すべり出し窓  幅 600 以上 高さ 600 以上 （すべり出し窓）	H	H：すべり出し窓  ※ 戸1枚の幅は1200、高さは1200以内に限る	
⑩外倒し窓  幅 600 以上 高さ 600 以上 （外倒し窓）	I	I：外倒し窓  ※ 戸1枚の幅は1200、高さは1200以内に限る	
⑪内倒し窓  幅 600 以上 高さ 600 以上 （内倒し窓）	J	J：内倒し窓  ※ 戸1枚の幅は1200、高さは1200以内に限る	

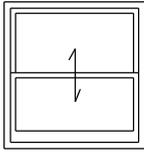
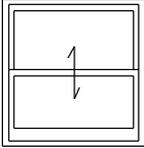
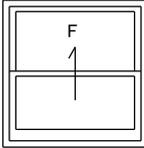
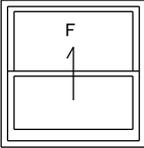
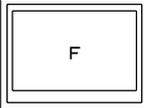
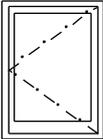
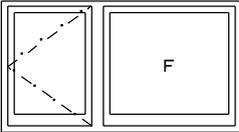
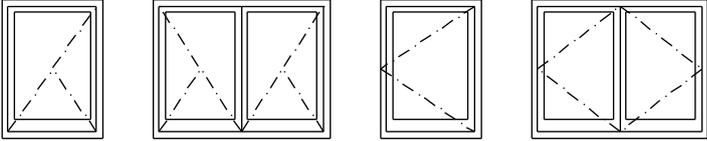
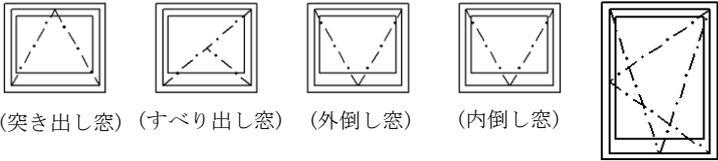
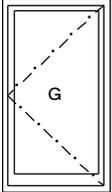
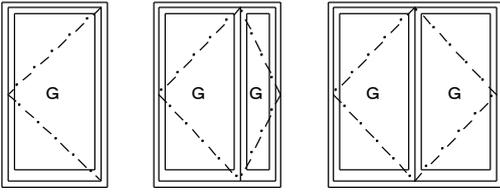
イ欄 試験体	ロ欄 適用範囲	凡例（評価品の開閉形式及び寸法）	
<p>⑫片開き框ドア（戸は1枚）</p>  <p>幅 700 以上 高さ 1700 以上</p>	K	<p>K：框ドア（L 区分のものを除く）</p>  <p>（片開きドア） （親子開きドア） （両開きドア）</p> <p>※戸1枚の幅は1200、高さは2400以内に限り</p>	
<p>⑬上げ下げ窓を内蔵した 框ドア</p>  <p>幅 700 以上 高さ 1700 以上</p>	L	<p>L：上げ下げ窓を内蔵した框ドア</p>  <p>※戸1枚の幅は1200、高さは2400以内に限り</p>	
<p>⑭框ドア以外のドアで 片開き（戸は1枚）</p>  <p>幅 700 以上 高さ 1700 以上</p> <p>又は</p> <p>⑮框ドア以外のドアで 親子開き（戸は2枚）</p>  <p>幅 1100 以上 高さ 1700 以上</p>	M	<p>M：框ドア以外のドア （フラッシュドア等）</p>  <p>（片開きドア） （親子開きドア） （両開きドア）</p> <p>※戸1枚の幅は1200、高さは2400以内に限り ※戸の面積に対するガラス面積の比率は、試験体のものを上限とする</p>	
<p>⑯ガラスルーバー窓 （シングルガラスタイプ）</p>  <p>幅 600 以上 高さ 1200 以上</p>	N1、N2	<p>N1：ガラスルーバー窓 （シングルガラスタイプ）</p>  <p>※窓の大きさは幅1200、高さ2400以内に限り</p>	

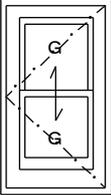
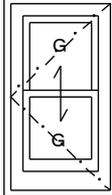
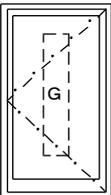
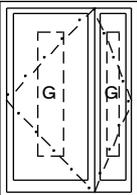
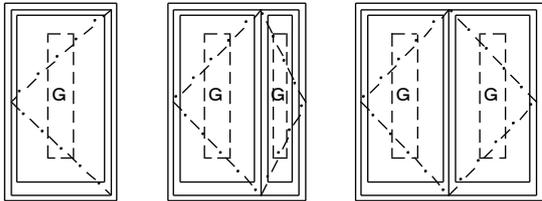
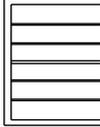
イ欄 試験体	ロ欄 適用範囲	凡例（評価品の開閉形式及び寸法）	
⑰ ガラスルーバー窓 （ダブルガラスタイプ）  幅 600 以上 高さ 1200 以上	N2	N2：ガラスルーバー窓 （ダブルガラスタイプ）  ※窓の幅は 1200、高さは 2400 以内に限る	
⑱ オーニング窓  幅 600 以上 高さ 1200 以上	O	O：オーニング窓  ※窓の幅は 1200、高さは 2400 以内に限る	
⑲ ユニット出窓 （台形又は四角形・ 正面引違い・ 側面フィックス）  幅 1600 以上 高さ 1200 以上 ※平面形状が台形のものと同四角形のもの の双方が存在する場合は、台形を代表試験体とする	P1、P2	P1：ユニット出窓（正面引違い・側面フィックス）  （台形・正面引違い・側面フィックス）  （四角形・正面引違い・側面フィックス） ※戸 1 枚の幅及びフィックス部の枠の短辺の内りは、それぞれ 1400 以内に限る ※窓面の外壁からの出寸法は 500 以内に限る	
⑳ ユニット出窓 （台形又は四角形・ 正面フィックス・ 側面開き）  幅 1600 以上 高さ 1200 以上 ※平面形状が台形のものと同四角形のもの の双方が存在する場合は、台形を代表試験体とする	P2	P2：ユニット出窓（正面フィックス・側面開き）  （台形・正面フィックス・側面開き）  （四角形・正面フィックス・側面開き）  （弓形・開き）  （三角形・開き） ※戸 1 枚の幅及びフィックス部の枠の短辺の内りは、それぞれ 1400 以内に限る ※窓面の外壁からの出寸法は 500 以内に限る	
㉑ その他（①～⑳以外の形式）	Q	Q：その他 ※評価品の開閉形式等は、試験体と同じものに限る ※評価品の寸法は、試験体の寸法を上限とする	

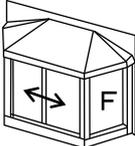
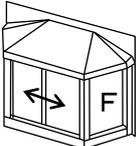
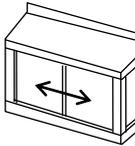
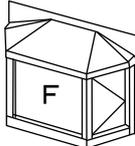
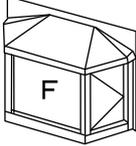
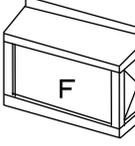
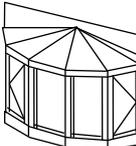
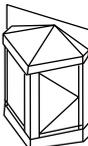
別表2 遮音性能に関する「評価品の開閉形式及び寸法の範囲（木造住宅サッシ等）」

注 ・寸法はミリメートル。表中の幅及び高さは、枠の内のり寸法による。
 ・図中のFは「フィックス」、Gは「ガラス」であることを示す。

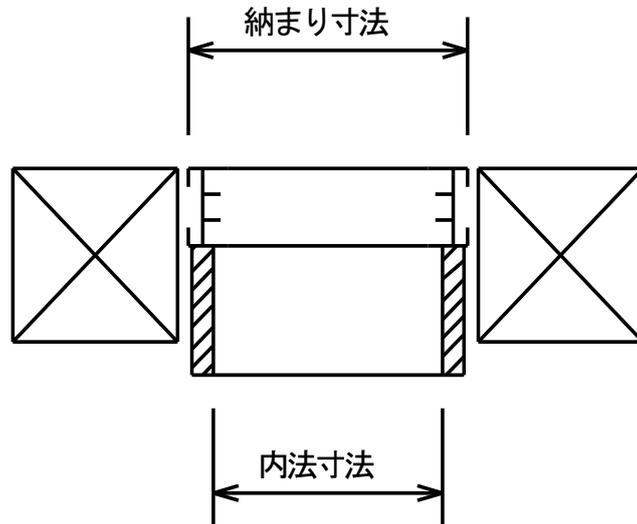
イ欄 試験体	ロ欄 適用範囲	凡例（評価品の開閉形式及び寸法）
<p>①引違いの窓（戸は2枚）</p>  <p>幅 1600 以上 高さ 1200 以上</p>	<p>A1、A2、 D、E</p>	<p>A1：引き形式の窓（引違い・両引き）</p>  <p>(2枚戸) (3枚戸) (4枚戸)</p> <p>(両引き)</p> <p>※ 戸1枚の幅及びフィックス部の幅は 1400 以内に限る</p>
<p>②片引きの窓（戸は1枚）</p>  <p>幅 1600 以上 高さ 1200 以上</p>	<p>A2、D、 E</p>	<p>A2：引き形式の窓（片引き）</p>  <p>(片引き) (一本引き)</p> <p>※ 戸1枚の幅及びフィックス部の幅は 1400 以内に限る</p>
<p>③土間納まりの引戸 引違い（戸は2枚）</p>  <p>幅 1600 以上 高さ 1700 以上</p>	<p>B1、B2</p>	<p>B1：土間納まりの引戸（引違い・引分け）</p>  <p>(2枚戸) (3枚戸) (4枚戸)</p> <p>(引分け)</p> <p>※ 戸1枚の幅は 1400 以内に限る</p>
<p>④土間納まりの引戸 片引き（戸は1枚）</p>  <p>幅 1600 以上 高さ 1700 以上</p>	<p>B2</p>	<p>B2：土間納まりの引戸（片引き・一本引き）</p>  <p>(片引き) (一本引き)</p> <p>※ 戸1枚の幅及びフィックス部の幅は 1400 以内に限る</p>

イ欄 試験体	ロ欄 適用範囲	凡例（評価品の開閉形式及び寸法）	
⑤両上げ下げの窓  幅 600 以上 高さ 1200 以上	C1、C2	C1：上げ下げの窓（両上げ下げ）  ※ 戸 1 枚の幅は 1400 以内に限る	
⑥片上げ下げの窓  幅 600 以上 高さ 1200 以上	C2	C2：上げ下げの窓（片上げ下げ）  ※ 戸 1 枚の幅及びフィックス部の幅は 1400 以内に限る	
⑦フィックス窓  幅 1100 以上 高さ 1200 以上	D	D：フィックス窓  ※ 短辺の寸法は 1400 以内に限る	
⑧縦すべり出し窓又は片開き窓（戸は 1 枚）  幅 600 以上 高さ 1200 以上 又は、 縦すべり出し窓又は 両開き窓（戸は 1 枚）と フィックス窓との連窓  幅 1600 以上 高さ 1200 以上	D、E、F	E：開き系窓  (縦すべり出し窓) (両縦すべり出し窓) (片開き窓) (両開き窓)  (突き出し窓) (すべり出し窓) (外倒し窓) (内倒し窓) (ドレーキップ窓) ※ 戸 1 枚の幅は 1400 以内に限る	
⑨片開き扉ドア（戸は 1 枚）  幅 700 以上 高さ 1700 以上	F	F：扉ドア（G 区分のものを除く）  (片開きドア) (親子開きドア) (両開きドア) ※ 戸 1 枚の幅は 1400 以内に限る	

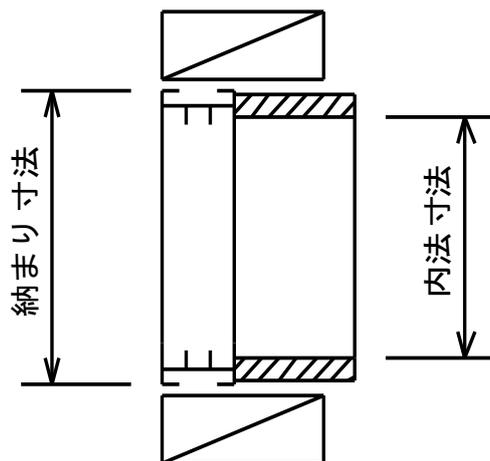
イ欄 試験体	ロ欄 適用範囲	凡例（評価品の開閉形式及び寸法）	
⑩ 上げ下げ窓を内蔵した 框ドア  <p style="text-align: right;">幅 700 以上 高さ 1700 以上</p>	G	G：上げ下げ窓を内蔵した框ドア  <p style="text-align: right;">※ 戸 1 枚の幅は 1400 以内に限る</p>	
⑪ 框ドア以外のドアで 片開き（戸は 1 枚）  <p style="text-align: right;">幅 700 以上 高さ 1700 以上</p> 又は ⑫ 框ドア以外のドアで 親子開き（戸は 2 枚）  <p style="text-align: right;">幅 1100 以上 高さ 1700 以上</p>	H	H：框ドア以外のドア （フラッシュドア等）  <p style="text-align: center;">（片開きドア） （親子開きドア） （両開きドア）</p> <p style="text-align: right;">※ 戸 1 枚の幅は 1400 以内に限る ※ 戸の面積に対するガラス面積の比率は、試験体のものを上限とする</p>	
⑬ ガラスルーバー窓 （シングルガラスタイプ）  <p style="text-align: right;">幅 600 以上 高さ 1200 以上</p>	I 1、I 2	I 1：ガラスルーバー窓 （シングルガラスタイプ）  <p style="text-align: right;">※ 戸 1 枚の幅は 1400 以内に限る</p>	
⑭ ガラスルーバー窓 （ダブルガラスタイプ）  <p style="text-align: right;">幅 600 以上 高さ 1200 以上</p>	I 2	I 2：ガラスルーバー窓 （ダブルガラスタイプ）  <p style="text-align: right;">※ 戸 1 枚の幅は 1400 以内に限る</p>	
⑮ オーニング窓  <p style="text-align: right;">幅 600 以上 高さ 1200 以上</p>	J	J：オーニング窓  <p style="text-align: right;">※ 戸 1 枚の幅は 1400 以内に限る</p>	

イ欄 試験体	ロ欄 適用範囲	凡例（評価品の開閉形式及び寸法）	
<p>⑩ユニット出窓 （台形又は四角形・ 正面引違い・ 側面フィックス）</p>  <p>幅 1600 以上 高さ 1200 以上</p> <p>※平面形状が台形のものと同角形のもの の双方が存在する場合は、台 形を代表試験体とする</p>	K1、K2	<p>K1：ユニット出窓（正面引違い・側面フィックス）</p>  <p>（台形・正面引違い・ 側面フィックス）</p>  <p>（四角形・正面引違い・ 側面フィックス）</p> <p>※ 戸1枚の幅及びフィックス部の枠の短辺の内のは、それぞれ 1400 以内に限る</p> <p>※ 窓面の外壁からの出寸法は 500 以内に限る</p>	
<p>⑪ユニット出窓 （台形又は四角形・ 正面フィックス・ 側面開き）</p>  <p>幅 1600 以上 高さ 1200 以上</p> <p>※平面形状が台形のものと同角形のもの の双方が存在する場合は、台 形を代表試験体とする</p>	K2	<p>K2：ユニット出窓（正面フィックス・側面開き）</p>  <p>（台形・正面フィックス・側面開き）</p>  <p>（四角形・正面フィックス・側面開き）</p>  <p>（弓形・開き）</p>  <p>（三角形・開き）</p> <p>※ 戸1枚の幅及びフィックス部の枠の短辺の内のは、それぞれ 1400 以内に限る</p> <p>※ 窓面の外壁からの出寸法は 500 以内に限る</p>	
⑫その他	L	<p>L：その他</p> <p>※ 評価品の開閉形式等は、試験体と同じものに限る</p> <p>※ 評価品の寸法は、試験体の寸法を上限とする</p>	

サッシ等における「内法寸法」、「納まり寸法」



水平断面図（例）



垂直断面図（例）

<参考：標準書式>

試験体及び試験結果の概要

商品名	〇〇		同等基準 の箇所
試験の区分	遮音性能		
試験結果			
用途の区分	「非木造住宅サッシ等」又は「木造住宅サッシ等」の いずれかを記入		1-1②
材質	戸の材質	「①アルミ製」～「⑧その他の構造製」のうち、該当 するものを記入	3
	枠の材質	「①アルミ製」～「⑧その他の構造製」のうち、該当 するものを記入	
試験機関	〇〇研究所 (第三者試験機関以外の場合は、同等基準の要件を満 たすこと理由を付記すること)		4
試験方法	J I S O O		6-1
枠及び戸 (又はフィックス 部)の構造	ガラスの部分	F L O + A O + F L O	6-2
	その他の部分	〇〇	
戸と枠の取り合い部の構造	図〇〇のとおり		6-3
締まり機構	図〇〇のとおり 〇〇箇所		6-4
開閉形式及び寸法	開閉形式	「①引違いの窓(戸は2枚)」～「⑩その他」のうち、 該当するものを記入	6-5
	寸法	W : 〇〇mm H : 〇〇mm	